

# INFORMATION *Circular*

JAPANESE SOCIETY OF DEVELOPMENTAL BIOLOGISTS

■第34回運営委員会報告	1
■事務局より	幹事長 安増郁夫 1
■決算及予算案	庶務幹事 藤原昭子 2
■成茂海外出張旅費援助の結果	5
■成茂海外出張旅費援助募集	5
■昭和62年度山田科学振興財団援助	5
■お知らせ	9
■会員異動	10

# NO.53

MARCH 1986

## 日本発生生物学会

〒160 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

早稲田大学教育学部生物学教室

日本発生生物学会の諸組織は以下のとおりです

会 長：〒 194 町田市南大谷11  
三菱化成生命科学研究所 発生生物学研究室  
加藤淑裕（電話 0427-26-1211 内線244）

DGD編集主幹：〒 812 福岡市東区箱崎6-10-1  
九州大学理学部生物学教室  
山名清隆（電話 092-641-1101 内線4408または4410）

DGD編集幹事：〒 730 広島市中区東千田町1-1-89  
広島大学総合科学部  
天野 実（電話 082-241-1221 内線357）

事 務 局：〒 160 東京都新宿区西早稲田 1-6-1  
早稲田大学教育学部生物学教室  
（電話 03-203-4141 内線 3911）

（幹 事 長） <sup>ヤマダ</sup> 安 増 <sup>イノウエ</sup> 郁 夫  
（会計幹事） <sup>フジワラ</sup> 藤 原 <sup>アキコ</sup> 昭 子  
（庶務幹事） <sup>ナミキ</sup> 並 木 <sup>ヒデオ</sup> 秀 男

学 会 セ ン タ ー：〒113 文京区弥生2-4-16  
学会センタービル内日本学会事務センター  
日本発生生物学会係（電話 03-817-5801）

入退会、会費納入、および出版物（DGD、サーキュラー等）の郵送については、上記学会事務センターに書面で御問合せ下さい。

## 1. 第34回運営委員会報告

同委員会は昭和61年1月11日(土)12時半より早稲田大学大隈会館で行われた。出席者は以下の通り(敬称略)

加藤淑裕(会長), 天野実(編集幹事), 大西英爾, 岡田益吉(第19回大会準備委員長), 黒田行昭, 塩川光一郎, 杉山勉, 団まりな, 平本幸男, 山名清隆(編集主幹), 米田満樹, 安増郁夫(幹事長), 藤原昭子(会計幹事), 並木秀男(庶務幹事)

主な報告及議事は次の通り。

1. 当学会が学術会議の登録団体になったこと。(安増)
2. D.G.D.が600ページから813ページに増大した。これは金谷記念号等の増加分による。尚,6号が初めて年内に出来上った。(山名)
3. 学術会議では低下した機能を活発化する努力をしている。又,分科細目に発生生物学を加える努力をしている。(平本)詳細は前号のサーキュラーを参照して下さい。
4. D.G.D.の海外頒布が本年より開始されたが,為替相場による大幅な減収が確実であり,これをいかに解決するか検討を要する。(幹事長報告の項参照)
5. 次期大会開催地として京都大学にお願いする方向で検討する。
6. 次期編集委員の選出は次期運営委員会で決定することとし,会長が打診する。
7. 本年は運営委員の選挙の年であるが,選挙管理委員は,黒田委員を委員長として,三島の遺伝研から選出する。
8. 60年度の決算及61年度の予算案が藤原幹事より提出された。(本号の決算及,予算案の項参照)尚,会計監査は,筑波大学の高橋三保子氏及東大の八杉貞雄氏にお願いした。(総会での承認事項)

庶務幹事 並 木 秀 男

## 2. 事務局より

日本発発生物学会の事務局をお引受けしてから,約10ヶ月間,主観的には,なんとか無事に,会員の皆様に御迷惑をおかけしない程度に,事務運営が出来たと思っております。何らかの御迷惑をおかけ致しておりますなら,心からおわび申し上げます。会員の皆様に御迷惑をおかけするようなことがありましたら,御注意下さいます様,お願い致します。

前号のサーキュラーで報告致しましたように,この10ヶ月間に発生学会が学術会議の登録団体になり,DGDの海外頒布をアカデミックプレス(AP)の手でおこなう契約が出来ました。前者については,今後に残る問題はないのですが,DGDの海外頒布については,極めて大きな問題が生じました。APとの契約以前も,DGDの海外頒布による収入は,ドル建でありましたので,APとの契約の有無にかかわらず事情は全く同じなのですが,ドル安のために発生学会の収入が驚くほど少なくなってしまうことは確実になったことです。1985年末に作成され,1986年1

月の運営委員会で承認された暫定予算案は、DGD売り上げを12月末のレートである1 \$ 200円で計算したものです。この暫定予算案でも実質的な繰越金は減少致しております。従って、単年度当りでは数十万円の赤字予算です。現在では、すでに為替レートは1 \$ 180円を切っており、DGD頒布による収入は、1 \$ 240円時代と比べますと約150万円の減収になります（予算案作成時と比較して約50万円の減収）。

DGDをより広く国際的に頒布し、国際誌とすることを目的の1つとして、APに海外頒布を依頼したのですから、経費節約のためにDGDを現在より薄くしてしまうことや、増ページ分の著者負担を値上げすることなど、DGDの魅力を下げるようなことは、出来るだけ避けねばならないと考えています。同時に、学会費の値上げも避けたいと考えています。

このような状況で、学会を運営するためには、経費の節約はもちろんですが、会費（賛助会員も含む）の増加による増収、DGDやサーキュラーの広告の増加による収入増、国内でのDGD売り上げ増加などが必要であると考えられます。我々はこれらのことに会員の皆様の御協力が得られることを心から希望しております。もし、発生学会の予測され得る財政危機を回避するためのよい案がございましたら、事務局にお知らせ下されば幸いです。

幹事長 安 増 郁 夫

### 3. 決算及予算案

#### 昭和60年度決算（一般会計の部）

収 入	金 額	支 出	金 額
学 会 費	5,462,875	DGD印刷製本費	9,786,000
DGD売り上げ	4,741,520	編 集 局 経 費	2,960,000
広 告 代	877,000	事 務 局 経 費	195,135
賛 助 会 費	280,000	運 営 委 員 会 経 費	324,560
文 部 省 助 成 金	4,160,000	大 会 講 演 要 旨 集 印刷費及び発送手数料	504,000
超 過 ページ代	912,000	サーキュラー印刷費（47～49号）	447,000
利 息	10,998	大 会 援 助 費	250,000
雑 収 入 （名古屋大会から寄付を含む）	676,206	大 学 印 刷 別 刷 り 代 等	539,900
特別会計より（金谷記念号寄付）	1,000,000	“ 送 送 費	542,915
		学 会 事 務 センター 送 送 費	567,530
		“ 諸 経 費	96,800
		“ 事 務 委 託 費	764,784
		“ DGD保管料	31,200
		旅 費 援 助	200,000
		送 金 手 数 料	8,700
小 計	18,120,599	小 計	17,218,524

前年度繰越金	0	次年度繰越金	注2) 902,075
前年度未払い金過剰見積りのための予剰金	注1) 884,520	前年度未払金過剰見積りの予剰金	注3) 884,520
合 計	19,005,119	合 計	19,005,119

昭和60年度決算（特別会計の部）

取 入	金 額	支 出	金 額
寄 付	1,000,000	旅 費 援 助	1,700,000
金谷記念号寄付	1,178,970	送 金 手 数 料	7,328
利 息	11,462	経 費	10,000
		DGD金谷記念号補助	1,000,000
小 計	2,190,432	小 計	2,717,328
前年度繰越金	1,897,617	次年度繰越金	1,370,721
合 計	4,088,049	合 計	4,088,049

注1) 昭和59年度の繰越金は零でしたが、実際には、未払い金が過剰に見積られたため、残金がありました。

注2) 3) 両方を加算すると、次年度の繰越金は~~1,786,595~~円になります。但し下記の理由で、実際には赤字になっています。

60年度より、会計報告の決算方法を変更致しました。従来は、未払い金をも含めて、決算報告に掲載致しましたが、明解にするため、今回より、1月1日～12月31日までに、実際に支払われた金額のみを決算報告に掲載することに致しました。従って、60年度に支払われねばならないもので、12月末に請求書が来ていないものは含まれておりません。未払分として、

サーキュラー印刷費 (No.50～51) 354,000, —  
DGD vol. 27, No.6 (印刷費, 別刷代等) 2,481,415 —  
計 2,835,415

及び60年度会費前受金~~136,000~~円を加算すると、~~2,971,415~~円となり、60年度一般会計は、実際には、実質~~1,184,820~~円の赤字になります。

以上、報告致します。

昭和61年度暫定予算（一般会計の部）

取 入	金 額	支 出	金 額
学 会 費	5,300,000	DGD印刷製本費	注2) 9,100,000
DGD売上げ	注1) 4,500,000	編 集 局 経 費	2,960,000
広 告 代	870,000	事 務 局 〃	230,000
賛 助 会 費	250,000	運 営 委 員 会 〃	400,000

文部省助成金	4,160,000	サーキュラー印刷費	450,000
超過頁代	1,000,000	大会講演要旨集	700,000
利息	7,000	大会援助費	250,000
雑収入	80,000	大学印刷別刷代等	500,000
		“ 発送費	500,000
		学会センター発送費	700,000
		“ 諸経費	80,000
		“ 事務委託費	850,000
		“ 出納事務費	30,000
		“ DGD保管料	50,000
		名簿作成費用	180,000
		選挙費用	50,000
		送金手数料	7,000
小計	16,167,000	小計	17,037,000
前年度繰越金	1,786,595	次年度繰越金	916,595
合計	17,953,595	合計	17,953,595

昭和61年度暫定予算（特別会計の部）

収入	金額	支出	金額
寄付金	500,000	旅費援助	600,000
		送金手数料	2,000
小計	500,000	小計	602,000
前年度繰越金	1,370,721	次年度繰越金	1,268,721
合計	1,870,721	合計	1,870,721

注1) DGDの売り上げについて

アカデミックプレスの販売促進用として500部は実費で提供致しますので、その分は収入が増加するはずですが、ドル建て契約になっているため（昭和61年1月11日、1ドル200円として計算）、為替差損のため、実質的には昨年とほぼ同額又は減少になると考えられる。

注2) DGD印刷製本費の増加について

アカデミックプレスの契約に基づいて、毎号280部増刷されること、又そのうち1号は販売促進用のため500部増加するため、60万円加算されている。

為替差損は、推定より更に大きくなる可能性があります。繰り越金は、大幅に減少しております。一応赤字にならない程度に予算を組みましたが、実質的には、繰り越し金が減少しておりますので、赤字予算になっております。

会計幹事 藤原 昭子

#### 4. 成茂海外出張旅費援助の結果

成茂科学器械研究所寄付金による海外出張旅費援助（第3回後期分）を下記の2名に与えることが決定した。尚、応募総数は4名（内、選考前の辞退者1名を含む）でした。

野村 一也	九大理学部助手	International Xenopus Meeting において研究発表
白吉 安昭	京大理学部大学院	組織適合性抗原の遺伝子を導入したトランスジェニックマウスの作成などの共同研究（NTH）

上記2名には各20万円が援助されます。

#### 5. 成茂海外出張旅費援助者の募集

第4回前期分として1名を募集します。

援助金額 20万円

応募締切 昭和61年5月10日

申請用紙送付先 〒160 新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学教育学部生物学教室内  
日本発生物学会事務局

申請用紙は上記事務局に御請求下さい。

#### 6. 山田科学振興財団援助について

##### 報 告

61年度山田科学振興財団研究援助に応募された方は A：1件、B：5件の計6件でしたが、当学会としては杉山勉(A)、及大西英爾(B)の両氏を推薦することに決定し、その旨同財団に報告した。

##### 昭和62年度山田科学振興財団への研究援助候補推薦について

山田財団から研究援助候補推薦要領が届きました。応募なさる方は学会事務局へ推薦書用紙を申し込んで下さい。

- 1) 推薦書用紙送付：61年9月
- 2) 申請期限：62年1月末日（発生物学会事務局あて郵送）
- 3) 学会内審査：2月
- 4) 財団へ推薦：3月上旬

推薦要領は次の通りです。

## 昭和62年度 山田科学振興財団研究援助候補推薦要領

**援助の趣旨** 本財団は、自然科学の基礎的分野における重要かつ独創的な研究に従事する個人又はグループに対し援助します。

### 援助の件数及び期間

- イ 件数 1件1千万円以内の援助を10件内外
- ロ 期間 1年を原則とします。研究の継続を必要とする場合は、毎年提出された推薦書に基づき選考します。

### 推薦方法

- イ 推薦者 本財団が依頼した学(協)会の代表者
- ロ 推薦件数 1推薦者ごとに4件以内
- ハ 推薦手続 推薦者は、以下の書類を整え、ご送付願います。
  1. 所定の推薦書用紙又はその写しに必要事項を記入したもの 5部
  2. 添付書類(ページ・研-5 参照)

### 記載上の注意

- イ 黒インクで明瞭に記入して下さい。
- ロ 紙面不足のときには、同型同大の別紙で追加して下さい。
- ハ 推薦書第1頁欄外の脚注には記入しないで下さい。
- ニ 代表研究者は所属する大学(部等)・研究機関等の長から本援助の申込をすることについての承諾を得て下さい。

### 推薦締切期日

本財団へ推薦書が到着する締切期日は昭和62年3月31日(火)です。

### 選考方法

選考委員会において選考のうえ、理事会

が決定します。

### 選考結果の通知

昭和62年7月末迄に推薦者及び代表研究者等にあて通知します。

### 援助金の贈呈

選考結果の通知後2分割して支給します。

### 推薦書送付先及び連絡先

財団法人 山田科学振興財団  
(Yamada Science Foundation)  
〒544 大阪市生野区巽西1丁目8番1号  
電話 大阪(06)757局3311(代表)

### 研究の成果又は会計の報告

援助金の受領者に対して、必要に応じ、研究経過、研究成果又は会計について報告書の提出又は発表を求めます。

付

- イ 援助金の使途を変更する場合には、予め本財団の承諾を得て下さい。
- ロ 援助金から支出することのできない経費は、文部省科学研究費の場合に準じます。
- ハ 研究成果を文書によって発表される際には、本財団(財団法人 山田科学振興財団, Yamada Science Foundation)の援助による旨を記載し、報文の類いにあるはその別刷2部、また著書の類いにあるはその1部をご寄贈願います。
- ニ ご提出いただきました推薦書及び添付書類は、お返しいたしません。

### 研究者各位へ

推薦者の項に対応する学(協)会は次記のとおりです。学(協)会により締切期日及び募集方法等が異なりますから、代表研究者は応募の際、各学(協)会にお問い合わせ願います。

日本天文学会	日本地球電気磁気学会	日本薬学会	日本動物学会
日本植物学会	日本物理学会	日本化学会	日本生化学会
日本細胞生物学会	日本免疫学会	応用物理学会	高分子学会
日本生理学会	日本生物物理学会	電子通信学会	日本分析化学会
日本遺伝学会	日本発生物学会	日本金属学会	日本農芸化学会
日本分子生物学会	日本植物生理学会		

## 山田科学振興財団派遣援助申込要領

### 援助の趣旨

本財団は、自然科学の基礎的分野における重要かつ独創的な研究に従事する国内邦人の個人又はグループを国外に派遣し、学識を交換して、学術の国際交流を促し、又研究を共にして、相互に研究の学際的あるいは国際的進展を図る等のために、次のイ、及びロ、の援助を行います。

イ、高度の研究業績を持つ研究者を、指導、講演、討論又は視察等を主目的として、短期間（通例3カ月間以内）派遣するための援助

ロ、高度の研究活動を実施しつつある新進研究者若干名を、協同研究への直接参加を主目的として、長期間（通例1カ年間）派遣するための援助

### 援助金

イ、本年度の総額 来日援助と併せて5,000万円の前定

ロ、渡航費、滞在中の国内旅費、滞在費等

### 申込手続

所定の用紙又はその写しに必要事項を記入し、次のイ、ロ、の各文書あるいはそれらの写しを添え、おのおの3部ずつご送付願います。

イ、短期間派遣にあつては、1. 研究指導者又は所属機関長の推薦書 2. 集会の内容を紹介する文書 3. 集会のサーキュラー及びプログラム 4. 派遣先と交わした申込者又はこれに代る人からの往復書信等の連絡書信 5. 申込者の講演・発表等の要旨 6. 申込者の研究報告のリスト

ロ、長期間派遣にあつては、1. 申込者の直接指導者又は所属機関長による本申込及び本研究に対する評価又は推薦の文書 2. 派遣中の具体的な研究計画書及びそれを本人が英、独あるいは仏訳したもの 3. 受け入れ先の発行した招へい状及び受入受諾を確証する約定書 4. 派遣先と交わした申込者又はこれに代る人からの往復書信等の連絡書信 5. 申込者の研究報告のリスト

### 記載上の注意

イ 黒インクで明瞭に記入して下さい。

ロ 紙面不足のときには、同型同大の別紙で追加して下さい。

ハ 外国人名は、フルネームを活字体で書き、読みかたをフリガナでお示し下さい。邦人名にはフリガナを付けて下さい。

ニ 申込書第1頁欄外の脚注に記入しないで

下さい。

### 申込期限

イ、短期間派遣

出発予定日より4ヵ月以前の月の15日

（例：10月に出発予定のときは6月15日が締切り期日に当る）

ロ、長期間派遣

昭和61年11月30日（昭和62年4月1日～昭和63年3月31日に出発予定の方）

### 選考方法

選考委員によって選考のうえ、理事会が決定します。

### 選考結果の通知

申込者にあてて通知します。

### 援助金の贈呈

適時贈呈します。

### 申込書送付先及び連絡先

財団法人 山田科学振興財団  
(Yamada Science Foundation)

〒544 大阪市生野区巽西1丁目8番1号

電話 大阪 (06) 757局3311 (代表)

### 付

イ、援助金の使途を変更するときには、予め本財団の承諾を得て下さい。

ロ、申込者には、援助による成果について報告書の提出を求めます。

ハ、成果について刊行する場合には、本財団の援助による旨書き添え、その別刷2部をお分け下さい。

ニ、ご提出いただきました申込書は、返却いたしません。

## 山田科学振興財団来日援助申込要領

### 援 助 の 趣 旨

本財団は、自然科学の基礎的分野における重要かつ独創的な研究に従事する在外の個人又はグループが来日し、学識を交換して、学術の国際交流を促し、又研究を共にして、相互に研究の学際的あるいは国際的進展を図る等のために、次の援助を行います。

高度の研究業績を持つ研究者が、指導、講演、討論又は視察等を主目的として、短期間（通例3カ月以内）来日するための援助。

#### 援助金

- イ. 本年度の総額 派遣援助と併せて5,000万円の予定
- ロ. 渡航費、滞在中の国内旅費、滞在費等

#### 申込手続

- イ. 所定の用紙又はその写しに必要事項を記入する。
- ロ. 招へい状、推せん書、連絡の往復書信、来日者業績一覧表、その他申込者において補足説明を要すると判断される場合は、その説明書を添付する。
- ハ. イ.ロ.共おのおの3部ずつご送付願います。

#### 記載上の注意

- イ. 黒インクで明瞭に記入して下さい。
- ロ. 紙面不足のときには、同型同大の別紙で追加して下さい。
- ハ. 外国人名は、フルネームを活字体で書き、読みかたをフリガナで示して下さい。邦人名にはフリガナを付けて下さい。
- ニ. 申込書第1頁欄外の脚注に記入しないで下さい。

#### 申込期限

昭和61年11月30日（昭和62年4月1日～

昭和63年3月31日に来日予定の方)

#### 選考方法

選考委員によって選考のうえ、理事会が決定します。

#### 選考結果の通知

申込者にあてて通知します。

#### 援助金の贈呈

適時贈呈します。

#### 申込書送付先及び連絡先

財団法人 山田科学振興財団  
(Yamada Science Foundation)  
〒544 大阪市生野区巽西1丁目8番1号  
電話 大阪 (06) 757局3311 (代表)

#### 付

- イ. 援助金の使途を変更するときには、予め本財団の承諾を得て下さい。
- ロ. 申込者及び来日者には、援助による成果について報告書の提出を求めます。
- ハ. 成果について刊行する場合には、本財団の援助による旨書き添え、その別刷2部をお分け下さい。
- ニ. ご提出いただきました申込書は、返却いたしません。

### 申込要領等改訂のお知らせ

援 助 名	募 集 開 始	締 切 日
来 日 (62年4月～63年3月分)	61 年 4 月 1 日	61 年 11 月 30 日
長 期 間 派 遣 (62年4月～63年3月分)	61 年 4 月 1 日	61 年 11 月 30 日
短 期 間 派 遣	出発月の4ヵ月前の15日が締切日 (例：61年10月出発の場合61年6月15日が締切日)	

## 7. お知らせ

英文の原稿を校閲して欲しい方はお読み下さい。

### **Bioscript**

Ann M. Korner Ph. D.

We are pleased to announce the availability to Japanese scientists of an American Editorial Service. Your manuscript for submission to any journal that is published in English can now be professionally edited in the United States.

The editors at "Bioscript" have doctorates in Molecular Biology and many years of experience in the preparation of manuscripts on both medical and biological subjects.

"Bioscript" guarantees complete confidentiality and guarantees to send your manuscript with corrections back to you within four days of receipt.

The cost of this service is \$25/hour up to a maximum of \$5/page, and includes the cost of airmail return postage to Japan. Payment may be made through The Bank of Tokyo, Ltd.

To take advantage of the services offered by "Bioscript", please send your manuscript, typed in double space to:

Dr. A. M. Korner

"Bioscript"

71 Blake Road

Hamden, CT 06517

U. S. A.

Tel. 203-785-9031.

## 8. 会 員 異 動 (昭和60年11月~12月)

<新入会>		所 属	(①テーマ ②材料)
泉 進	都立大・理・生物		①昆虫の変態 ②カイコ <i>Bombyx mori</i>
佐藤 征二	協和醗酵 東京研究所		①細胞成長因子, 分化因子と動物細胞の増殖 ②Human erythroleukemic cell human Burkitt lymphome
矢島 英雄	茨城大・理・生物		①昆虫胚における胚軸決定 ②ヒシモンユスリカ <i>Chironomus samoensis</i>
小林 直正	同志社大・生物		①無脊椎動物を用いた水汚染の生物検定 ②ウニ・モノアラガイ
戸須 真理子	国立がんセンター研究所 放射線研究部		①細胞工学法による遺伝子の発現調節機構の解明 ②teratocarcinoma
上田 太郎	東大・理・植物		①細胞生物学, 特に細胞骨格の動的変化とその制御 ②真正粘菌 <i>Physarum polycephalum</i>

<住所変更>		新 住 所
木戸 哲二	(自) 〒921	金沢市長坂1-9-11
岩倉 洋一郎		東大・医科研・ウイルス感染
藤谷 英男	(自) 〒229	相模原市陽光台5-19-5
大原 たかね		東京都老人研・生物
村上 柳太郎		山口大・理・生物
佐野 清		北大・臨海実験所
岩田 峰夫		札幌市白石区もみじ台西5-9-13
山中 八郎		Dept. Haematological Medicine, Univ of Cambridge, Clinical School, Hills Road, CB2 2QL England.

### <退 会>

今西美知子, 中居 純子, 清田 裕子, 山田 尚文, 天野 宏, 井坂 三郎, 粕谷 博之,  
角谷ますみ, 清水 宏次, 佐野 護, 増田 清

## 〔賛助会員〕

組織培養はパイレックスコーニングの岩城硝子(株) (〒100 千代田区丸の内3-2-3)

TEL 03-214-7401

生物学・生態学洋書のことならグリーン洋書(株) (〒211 川崎市幸区小倉610-1-506)

TEL 044-533-0470

日製産業株式会社 (〒453 名古屋市中村区名駅4-6-18 名古屋ビル内)

発生学をはじめとする生物科学書の出版社・培風館 (〒102 千代田区九段南4-3-12)

最良の選択ファルコン組織培養器具ベクトン・ディッキンソン・オーバーシーズ Inc.

(〒107 港区赤坂8-5-84 島藤ビル) TEL 03-403-9991

マウス・モノクローナル抗体(アロ抗体)は明治乳業(株) (〒104 中央区京橋2-3-6)

TEL 03-271-4333

三菱化成生命科学研究所

(〒194 町田市南大谷11)

科学の技術に奉仕する理工学社

(〒113 文京区本駒込5-9-10)

TEL 03-928-5211

次代を担うバイオテクノロジー和研薬株式会社

(〒606 京都市左京区北白川西伊織町25)

タイプ別コラーゲン抗体は(株)アドバンスへ

(〒103 中央区日本橋小舟町5-7)

TEL 03-667-1551

## 学術研究用人工海水 ジャマリン

- 含有元素の組成は外洋水の分析値による。
- 完全に溶解する。
- 水質は極めて安定。自然海水のようなバラツキがない。
- 研究の目的により色々の種類がある。
- 殆んどすべての海の生物に使用できる。
- 世界各国で広く使用されている。

◆価格(送料別)	20ℓ用	5ℓ用	2ℓ用	
Jamarin S	2,000円	1,000円		オートクレーピングできる
Jamarin U	1,600円	800円		一般用
Ca-free Jamarin		1,500円	750円	
Ca,Mg-free Jamarin		1,500円	750円	
Sulfate-free Jamarin		1,500円	750円	

(お問合わせ、ご注文は下記へお願いします。)

## ジャマリン ラボラトリー

〒536 大阪市城東区鳴野西2丁目11番5号 電話 大阪(06)968-3154

三菱化成

なか しべ つ  
**中標津血清**

ライフインダストリーの三菱化成が採血から濾過まで一貫国内生産  
最終濾過は孔径 $0.1\mu\text{m}$ のメンブレンフィルター使用

**準胎児血清**

生後24時間以内で初乳を飲む前の新生仔牛から採血

**新生仔牛血清**

生後2週間以内の新生仔牛から採血

**成牛血清**

1.5才以上の牛から採血

**ARMOUR血清**

Armour Pharmaceutical Company (U.S.A.) 製造

**胎児血清**

(Rehatuin® F.S.)

**仔牛血清**

生後16週間以内の仔牛から採血

何れもロットチェック用サンプルを提供致します。



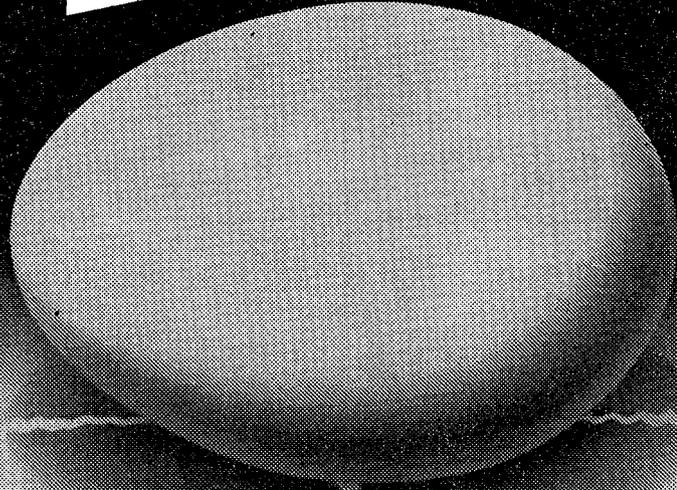
三菱化成工業株式会社 医薬事業部

〒100 東京都千代田区丸の内2-5-2(三菱ビル)  
☎03(283)6791(直通)

大阪支店化成品部門  
☎06(208)4560(直通)  
東京支店化成品部門  
☎03(283)6100(直通)

名古屋支店化成品部門  
☎052(562)2556(直通)  
九州支店化成品部門  
☎092(291)8891

# 増殖 エネルギー



## 増殖を支える大きな力、組織培養用培地 —— 日本製薬から

■ 高压蒸気滅菌可能 KM含有 NaHCO <sub>3</sub> ・L-Gln不含	イーグルMEM培地①
■ 高压蒸気滅菌可能 KM含有 NaHCO <sub>3</sub> ・L-Gln・PR不含	イーグルMEM培地②
■ 高压蒸気滅菌可能 NaHCO <sub>3</sub> ・L-Gln・PR・KM不含	イーグルMEM培地③
■ 高压蒸気滅菌可能、浮遊培養用 KM含有 NaHCO <sub>3</sub> ・L-Gln不含	イーグルMEM培地④
■ 高压蒸気滅菌可能 KM含有 NaHCO <sub>3</sub> ・ L-Gln・L-Arg・L-Leu・L-Met・L-Phe不含	イーグルMEM培地⑤
■ 高压蒸気滅菌可能 NaHCO <sub>3</sub> ・L-Gln不含	イーグルBME培地
	イーグルMEMアミノ酸ビタミン培地
■ NaHCO <sub>3</sub> 不含	ダルベッコ変法イーグル培地①
■ 高压蒸気滅菌可能 NaHCO <sub>3</sub> ・L-Gln不含	ダルベッコ変法イーグル培地②
■ NaHCO <sub>3</sub> 不含	199培地
■ NaHCO <sub>3</sub> 不含	ハムF12培地
■ NaHCO <sub>3</sub> 不含	RPM I 1640培地①
■ 高压蒸気滅菌可能 NaHCO <sub>3</sub> ・L-Gln不含	RPM I 1640培地②

■ NaHCO <sub>3</sub> 不含	フィッシャーの培地
■ 高压蒸気滅菌可能 KM含有 NaHCO <sub>3</sub> ・L-Gln不含	ES培地
■ NaHCO <sub>3</sub> 不含	ハンクス液①
■ NaHCO <sub>3</sub> ・PR不含	ハンクス液②
■ NaHCO <sub>3</sub> 不含	アール液
	ダルベッコPBS(-)粉末
■ ダルベッコPBS用	金属塩類溶液
■ 無菌凍結乾燥	グルタミン



製造発売元

**日本製薬株式会社**

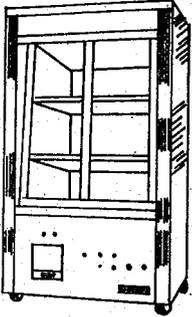
本社 〒170 東京都豊島区巣鴨2-11-1

電話 03 (918) 8166 (代)

営業所 東京・関東・大阪・名古屋・広島・福岡・仙台・札幌

# NK式生物研究用機器

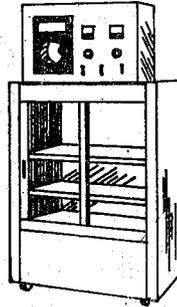
## NK式電気低温恒温器(送風循環型) 高精度普及型



型式	LP-100 -S型	LP-150 -S型	LP-200 -S型
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	460×380 ×490	560×380 ×670	660×410 ×670
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	26万円	30.5万円	32万円

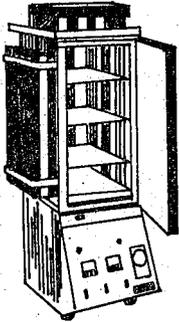
※その他いろいろなタイプがあります。

## NK式プログラム電気低温恒温器(送風循環型) 四季の温度がプログラムで自在に再現できます!



型式	LP-150 -3P	LP-200 -3P	LP-300 -3P
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	460×880 ×480	560×380 ×670	660×410 ×670
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	49.8万円	53.5万円	60万円

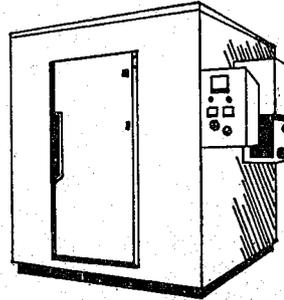
## NK式人工気象器 植物の育成、小動物(昆虫)飼育の本格派!



型式	LH-100 -RD型	LPH-100 -RD型	LH-100 -RDP型
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	360×350 ×680	360×350 ×680	360×350 ×680
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+10℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	温度のみ 47万円	温・湿度付 73万円	プログラム付 66万円

※その他いろいろなタイプがあります。

## NK式プレハブ電気低温恒温槽 組立、移設、増設が思いのまま!

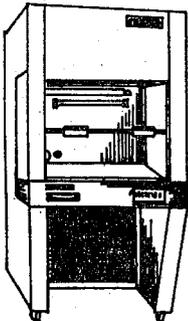


### 精密型

- LH型+5℃~45℃  
価格1坪1,190,000円  
より各種
- LP型+18℃~45℃  
価格1坪1,290,000円  
より各種

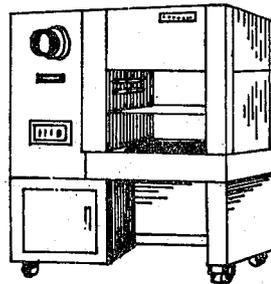
※詳細はプレハブシリーズカタログをご請求下さい。

## NK式クリーンベンチ(垂直層流型)



NKB-VS-850  
¥780,000  
NKB-VS-1300  
¥880,000

## NK式クリーンベンチ(垂直層流両面型) 無菌作業の能率アップに!



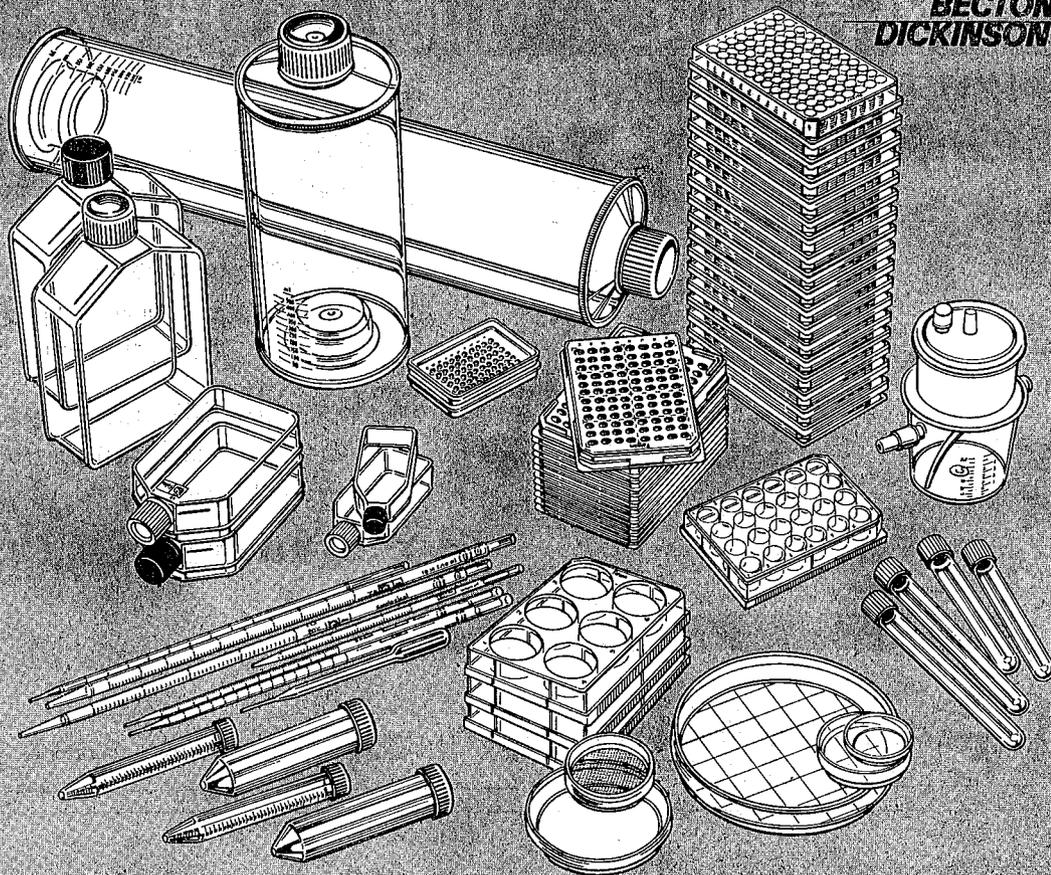
NKB-VW-850  
¥1,200,000  
NKB-VW-1300  
¥1,500,000

## NKS 株式会社 日本医化器械製作所

本社 〒550 大阪市西区江戸堀1丁目19番24号  
東京営業所 〒183 東京都府中市緑町7053-4  
工場 〒583 羽曳野市駒ヶ谷5番地47号

電話 大阪 06(443)0712(代)  
府中 0423(65)3245(代)  
羽曳野 0729(58)1919(代)

**BECTON  
DICKINSON**



## 1957年、組織培養器具にプラスチックの時代が始まった。 **ファルコン組織培養器具**

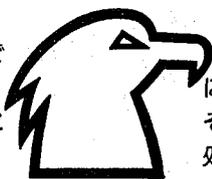
1956年11月、米国 Emeryville の海軍微生物研究所では、人や動物の細胞をポリスチレン製ディッシュで培養することに興味を示しました。このことにいち早く着目したファルコンでは、プラスチック表面における細胞の付着や増殖について研究を進め、1957年ついに組織培養処理を施した高品質のプラスチック製ディッシュの開発に成功致しました。それは、ガラス製器具の使用にと

なうさまざまな問題点を一挙に解決し、組織培養の分野に大きな前進をもたらしました。

そして今日まで、ファルコンの活動は、よりすぐれた組織培養器具を開発することに集中しました。

その成果として、最近ではより高度な表面処理を施したプライマリア組織培養器具をお届けすることもできました。

組織培養の進歩とともに、ファルコンは常に新しい可能性をもとめ続けます。



# Falcon

輸入販売元

**Becton Dickinson Overseas Inc.**

ベクトン、ディッキンソン オーバーシーズ インク

〒107 東京都港区赤坂 8-5-34 島藤ビル TEL 03(403)9991(代)

●B-D、ファルコン、Falcon、プライマリアはベクトン、ディッキンソン アンド カンパニーの商標です。 ●Becton Dickinson Labwareはベクトン、ディッキンソン アンド カンパニーの事業部です。

製造元

**Becton Dickinson Labware**

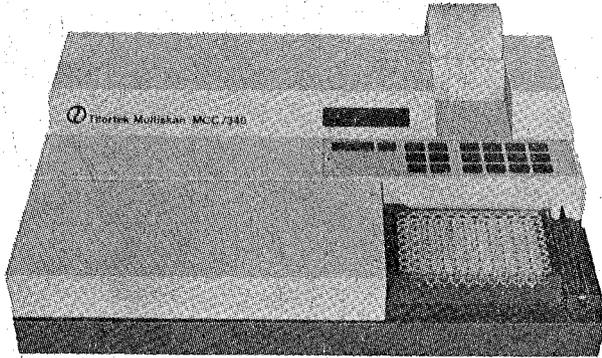
ベクトン、ディッキンソン ラブウェア事業部

Division of Becton Dickinson and Company

# 紫外部測定が可能になりました

マイクロプレート用吸光度計

## タイターテック マルチスキャンMCC/340



＊紫外部フィルターを装着！

従来の可視部フィルターに加えて紫外部フィルターを装着しました。

＊コンピュータ制御可能！

コンピュータによる操作およびデータ取り込みができます。

＊7種類の測定表示モード！

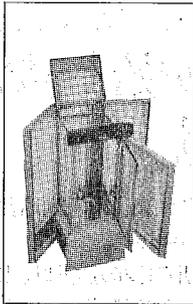


大日本製薬株式会社  
ラボラトリー プロダクツ部

〒564 大阪府吹田市江の木町33-94 提携  
TEL 大阪(06)386-2164(代表)

Flow Laboratories

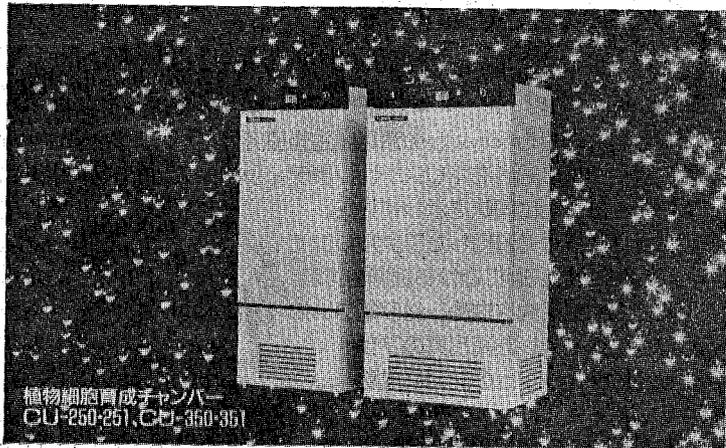
4-8



## 植物細胞育成チャンバー

□ 今ハイオの時代を迎えて  
高強度・高精密制御の  
殺菌灯とフィルター使用クリーンな空気が循環。  
昼夜の環境を確実に制御できるルバードタイプ。

TOMY



植物細胞育成チャンバー  
CU-250・251、CU-350・351

株式会社 トミー精工  
本社 06-976-3111  
札幌 011-742-0000  
（松本電機製作所内）  
筑波 0292-9-6001  
大阪 06-6056-6666  
福岡 092-641-6450  
（新興精機内）

- 5面からの強力照射（植物育成用紫外灯の使用も可能）。
- 除菌装置付き空気循環サイクル。
- 扉内温度の異常上昇、下降を防止する安全機構。
- プログラム運転が可能なCU-251・351
- 最大照度 庫内容量  
CU-250RX 2500lx  
CU-250・251  
CU-350RX 3500lx  
CU-350・351
- 使用温度範囲  
+4～+30℃
- 各種育成機器も同時発売  
クリーンベンチ、CO2インキュベーター、サーキュレーター、シミュレーター、倒立型顕微鏡

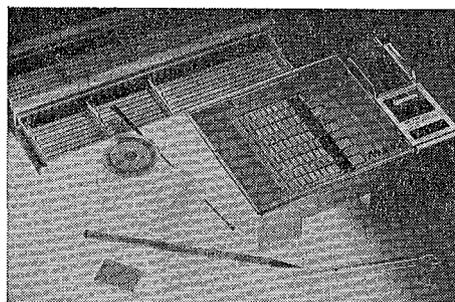
# Mupid-2®

## ミニゲル電気泳動システム《ミューピッド-2》

従来のミューピッドにポリアクリルアミドゲル調製用カバーが付きまして、アガロースゲル同様、簡便な使用が可能となりました。

- お一人に一台以上。
- 安全、軽量、簡単な操作。
- 学生の実習用など教材としても最適。

※部品の別売もしております。



**超安価 ¥29,800**

(PAGE調製用カバー、電源及びゲルメーカーセットを含む)

# Didets® (抗血清)

DIAGNOSTIC DETECTION SYSTEM

- 全血清(留分)の凍結品、高力価。
- 細胞骨格研究用等にお使いください。



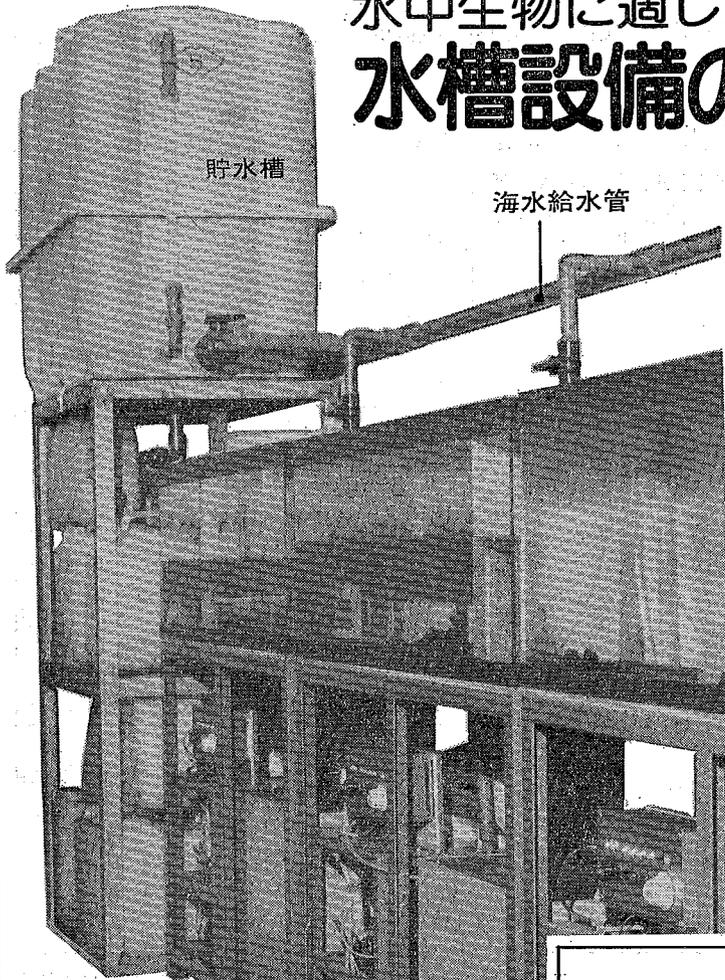
品名〔抗原由来〕	特異性
〔ウサギ〕抗タイプⅠ・コラーゲン (Anti Collagen, type I) 〔ウシ真皮〕	ヒト及ラットと交差あり。タイプⅡ、Ⅳコラーゲンと交差せず、タイプⅢコラーゲンと僅かに交差(ELISA法)。
〔ウサギ〕抗タイプⅡ・コラーゲン (Anti Collagen, type II) 〔ウシ関節軟骨〕	ヒト及ラットと交差あり。タイプⅠ、Ⅲ、Ⅳコラーゲンと交差しない(ELISA法)。
〔ウサギ〕抗アクチン (Anti Actin) 〔ニワトリ胸筋〕	非筋細胞アクチンとも交差する。種特異性は殆どなし。
〔ウサギ〕抗ミオシン (Anti Myosin) 〔ニワトリ胸筋〕	非筋細胞ミオシンとも交差する。種特異性は殆どなし。
〔ウサギ〕抗チューブリン (Anti Tubulin) 〔ラット脳〕	ヒトと交差する。
〔ウサギ〕抗S-100蛋白 (Anti S-100 Protein) 〔ウシ脳〕	ヒト、ラット、マウス、ウナギと交差する。
〔ウサギ〕抗黄体形成ホルモン-β(LH-β) (Anti Luteinizing Hormone-β) (Anti LH-β) 〔ヒツジ下垂体〕	ヒト、ラット、マウスと交差する。

※近日、抗タイプⅢコラーゲン・抗タイプⅣコラーゲン・抗タイプⅤコラーゲン等を新発売いたします。お問合わせは、下記までご連絡ください。

製造元  **株式会社アドバンス** 〒103 東京都中央区日本橋小舟町5-7 ☎03(667)1551(代)

総販売元  **丸善石油バイオケミカル株式会社** 〒105 東京都港区芝浦1-1-1(東芝ビル) ☎03(798)3882(代)

# 水中生物に適した 水槽設備のご相談は どうぞ!!



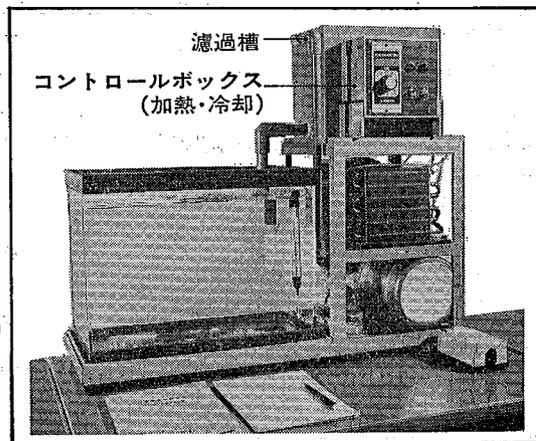
## アクリリウム水槽

- 水槽寸法：1200×450×450H(%)×3台
- 海水の給水を容易にするため貯水槽をもうけ各水槽に配管しました。
- 左側の水槽では“ゆむし”を飼育中。



## 卓上型実験用水槽

- 水槽寸法：450×250×350H(%)
- 外形寸法：800×300×670H(%)
- 水中生物の飼育に必要な機能(濾過循環・水温調整・空気供給等)の全てをそなえています。



弊社では今迄に  
多くの大学・研究所に  
各種実験用水槽を納入して  
おります。ご発注者との綿密な  
打合せの上、水中生物の種類・設置  
条件・ご予算に合わせて基本プランから製作・  
施行までの一切をお引受けいたします。

水中生物実験をご計画の際は、弊社の技術と  
アイデアをご利用下さい。

大型アクリル水槽●FRP水槽●コンクリート水槽●水槽用加熱・冷却ユニット●運搬車輻用水槽●付帯工事一式

お気軽にお電話下さい。

☎東京03(778)1751(代)

Fax. 東京03(775)8842



## 佐藤工業有限会社

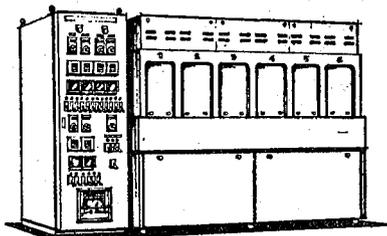
〒143 東京都大田区中央2丁目2番地6号

仙台営業所(活魚センター) 〒989-23 宮城県亶理郡亶理町荒浜鳥の海港 ☎02233(5)3230

Aquorex

# 研究に答える設備です

研究者のニーズにどう対応できるか——できるかぎりの努力をするべきだと考えています。多機種の中から一部製品をご案内いたします。



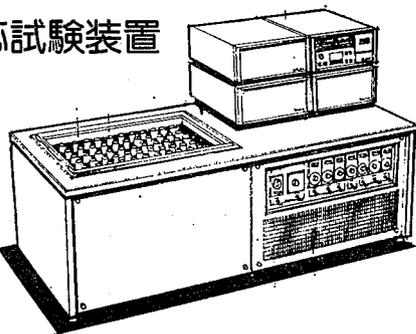
## 低温水棲生物生理実験装置

低温水棲生物の生理実験用装置。極寒冷地の植物性・動物性プランクトン、ウニ、ヒトデ、ペントス等に最適。水槽・温度調節装置・照明装置を装備。6槽分離独立。温度制御範囲は $-5^{\circ}\text{C} \sim +30^{\circ}\text{C}$ 。照明装置（クールレイランプ、熱線吸収ガラス使用。高照度30,000 Lux。照度・照明時間の自由設定可能。

### TG6-1500

## 卵稚仔温度反応試験装置

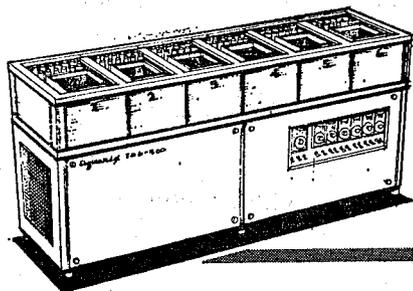
水生生物の卵・稚仔の環境温度に対する反応研究用に最適の装置。試験管88本により環境温度勾配を広範囲に一定保持。実験対象の各部位位置温度を時間経過に従って記録。照度も自由に選べる照明装置。小型多点温度記録装置が特長です。



### TG11-8

## 卵稚仔温度反応試験装置用馴致装置

卵稚仔温度反応試験装置（TG11-8）の馴致用装置。本装置は6槽に分離独立。水槽ごとに温度設定が可能。各槽ごとの試験管挿入可能。卵稚仔を反応装置（TG11-8）に入れる前準備に、また分類作業に最適。温度制御は正確・広範囲に温度設定が可能。

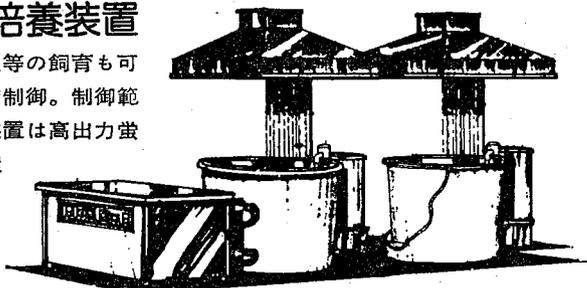


### TG6-300

## プランクトン培養装置

動物性プランクトンの海水培養用装置。幼魚・稚魚等の飼育も可能。2ポリエチレン円形2重水槽。外側槽による温度制御。制御範囲 $5 \sim 35^{\circ}\text{C}$ 。ヒーター・クーラー自動切換式。照明装置は高出力蛍光灯。光量調節・照明時間の自由変更可能。海水循環酸素補給・水質維持装置付。

### AR11D-1500



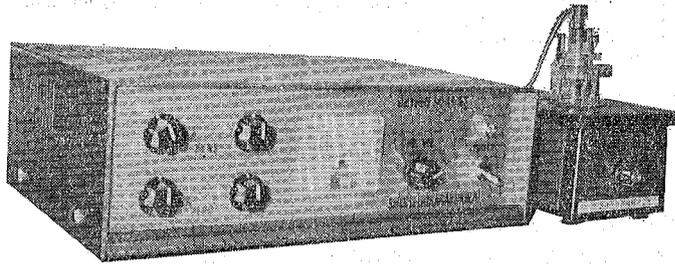
株式会社 **アクアレックス**

〒143 東京都大田区中央2丁目2番6号

お問合せ  
ご相談はお気軽に ☎ 東京 03(778)0202

# 酸素電極による呼吸測定装置 (溶存酸素による呼吸測定装置)

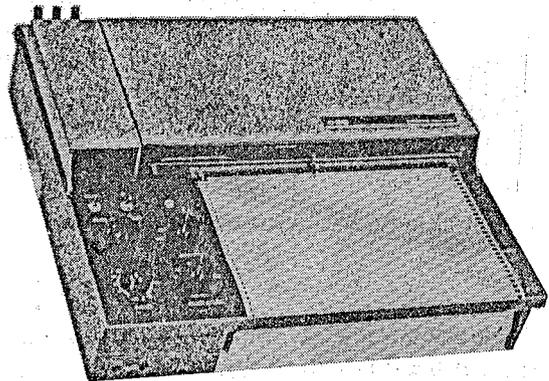
ミトコンダリア及び細胞懸濁液の溶存酸素減少による呼吸率の測定は、古くから行なわれて来ました。懸濁液を入れる密封容器の取扱いはかなりむずかしく、その容器の変更も困難でしたが、この容器は1.5ml~5mlまでの容量の変更が容易であり、試薬を懸濁液に投入したり、懸濁液の一部を密封状態のまま取り出す事が出来ます。セルはウォータージャケットがついていますので精密な温度コントロールが出来ます。フルスケール10mVの記録計に接続しても御使用できます。



S-I 溶存酸素測定装置

## 記録計

1mV~10V  
フルスケール全幅移動可能  
400K $\Omega$ ~無限大(レンジによる)  
250mm幅  
6段変速(標準最少2.5mm/min)  
AC100V 50~60Hz



 信誠理化学器械株式会社

〒112 東京都文京区後楽2-21-14

TEL (03) 815-3066(代)

FAX (03) 815-3231



# イオン交換水・蒸留水の 大量採取に!

## オートスチル WG-55/75型

マイクロコンピュータ制御機構を採用、純水製造工程の水質チェックができるデジタル水質計をはじめ、独自の採水機構、ボイラ水自動排水機構などを備え、蒸留水はもとより、調合、洗浄に必要なイオン交換水を直接に、しかも大量に採取できるニュータイプです。

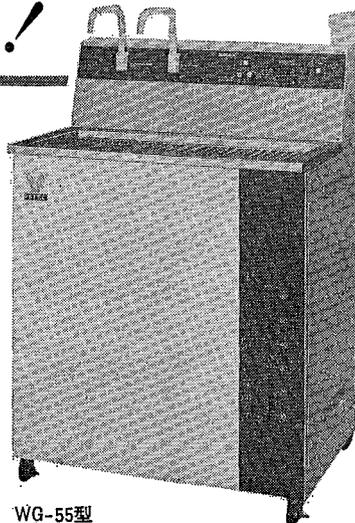
蒸留水採取量 (最大流出量)

WG-55型: 約5 ℓ/h (2.5 ℓ/min)

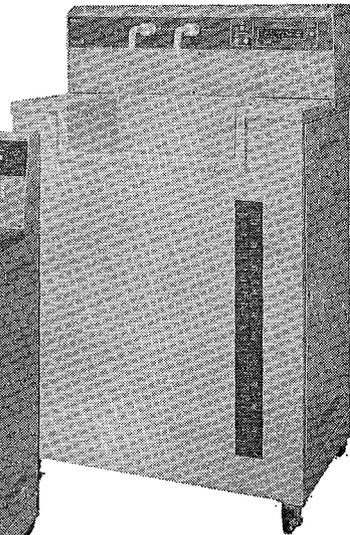
WG-75型: 約10 ℓ/h (3.0 ℓ/min)

イオン交換水流出力

約1.5~3.5 ℓ/min



WG-55型



WG-75型

## ヤマト科学株式会社

本社 〒103 東京都中央区日本橋本町2-9-5 TEL. (03)279-0911(大代表)  
新橋別館 〒105 東京都港区浜松町1-1-11 TEL. (03)434-7811(大代表)

■営業所/大阪・京都・名古屋・福岡・熊本・広島・仙台・札幌・金沢・甲府・城北・川崎・横浜・平塚・厚木・八王子・国分寺・千葉・大宮・川越・熊谷・宇都宮・筑波・水戸・鹿島

## Silver Stain KANTO

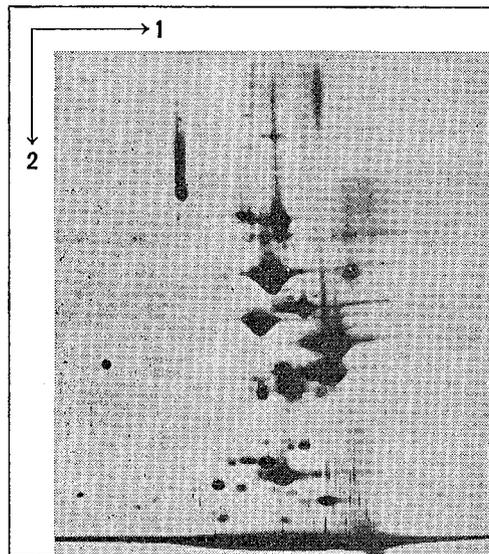
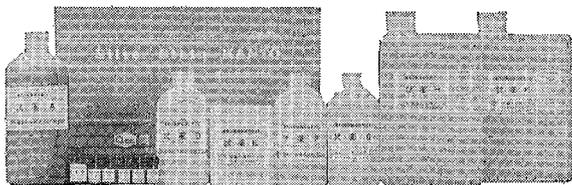
### 電気泳動用銀染色キット

シルバーステインKANTOは、蛋白・核酸を高感度で簡単に検出できます。

シルバーステインKANTOは、現像が緩やかにすすむように調製されています。現像停止のポイントを判断しやすく美しい染色像が得られます。

Cat.No.57650 **Silver Stain KANTO**

電気泳動用銀染色キット・シルバーステインKANTO  
スラブゲル (140mm×140mm×1.0mm) 25枚分



O'Farrell 2D-electrophoresis (一次元目はNEPHGE(1)、二次元目はSDS/PAGE(2))。試料は、筋蛋白5μg。

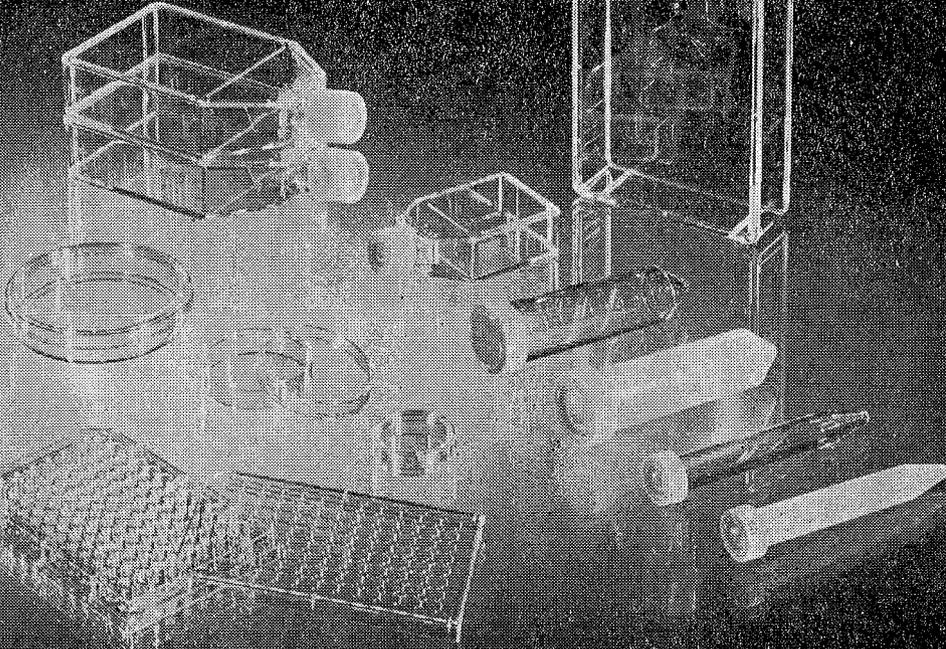
## 関東化学株式会社 試薬事業本部

103 東京都中央区日本橋本町3-7 03(663)7631  
541 大阪市東区瓦町3丁目1番地 06(222)2796

# CORNING

## 組織培養用プラスチック製品

ご満足いただけないCORNING組織培養用プラスチック製品は、無償でお取替えすることをお約束します。



PYREX®のコーニングが提供する組織培養用プラスチック製品は  
実験のバラツキを解消します。

### ●無菌生産

コーニングの組織培養用製品は、無菌環境で作られています。このため、バクテリアは勿論、機械油の蒸気やほこり等の付着もなく、培養特性が安定しています。

### ●フォームラック

コーニングの遠沈管・培養管には、フォームラック付きがあります。収納や運搬に便利なうえ、ガタツキがないため傷をつけることがなく、沈澱物が再浮遊する心配もありません。

### ●100%リークテスト

コーニングのフラスコは、全数圧力試験を行っております。また厚手に成形されていますので、リークやクラックの心配はありません。

### ●ダブルシールキャップ

ダブルシールキャップは、容器の口部内側と端部の2箇所でシールするもので、漏洩を完全に防ぎます。

### ●クロスコンタミネーション防止

マイクロプレートは、孔が独立しており、クロスコンタミネーションの危険がありません。

CODE	品名	品種	個/パック	個/ケース	材質(本体)	表面処理	滅菌	備考
25000	ベトリ皿	35φ×10mm	20	500	スチロール樹脂	○	無菌生産	
25010		60φ×15mm	20	500	"	○	"	
25020		100φ×20mm	20	500	"	○	"	
25100	フラスコ	25cm <sup>3</sup> (70mℓ)	20	300	スチロール樹脂	○	無菌生産	カントネック、ダブルシールキャップ
25110		75cm <sup>3</sup> (270mℓ)	5	100	"	○	"	"
25120		150cm <sup>3</sup> (600mℓ)	5	40	"	○	"	"
25140	ローラーボトル	850cm <sup>3</sup> (2350mℓ)	2	36	スチロール樹脂	○	γ線	ダブルシールキャップ
25200	培養管	16φ×125ラック付	50	500	スチロール樹脂	○	無菌生産	ダブルシールキャップ
25310	遠沈管	15mℓラック付き	50	500	スチロール樹脂	—	γ線	許容遠心力1800 G、ダブルシールキャップ
25330		50mℓラック付き	25	300	ポリプロピレン	—	E T O	" 5000 G "
25820	マイクロプレート	24孔、平底、蓋付き	1	50	スチロール樹脂	○	γ線	
25860		96孔、平底、蓋付き	1	50	"	○	"	

●表面処理は、親水性と細胞親和性を与えるもので、コーティングではありません。  
●ETOは、エチレンオキシサイド・ガス滅菌です。  
●詳細はカタログをご請求ください。

岩城硝子株式会社

本社 / 〒100 東京都千代田区丸の内3-2-3 (富士ビル)

本社販売部 ☎03(214)7401(代)

大阪支店 ☎06(362)6291(代)

名古屋支店 ☎052(211)3855(代)

九州支店 ☎092(451)5606(代)

広島支店 ☎082(248)0293(代)

札幌営業所 ☎011(221)3477(代)